

# ICPC国際大学対抗プログラミングコンテスト台湾地区大会 ネット情報チームが銀賞

台湾で11月17日に開催されたICPC国際大学対抗プログラミングコンテスト台湾地区大会で、



台湾地区大会の会場で。左から橋本さん、田村さん、関根さん。正解するとブースに風船が贈られる

ネットワーク情報学部の学生3人が銀賞を獲得した。

このコンテストは、世界大会進出チームを決めるアジア太平洋地区予選の一つで、台湾、日本、韓国、フィリピン、タイから合わせて40大学110チームが参加し、プログラミングの能力を5時間わたって競う。専大チームは、出題14問中6問正解し、チーム順位29位(大学別順位13位)に入り、銀賞を得ることができた。

メンバーは橋本拓弥さん(4年次)、関根光さん(4年次)、田村友希さん(4年次)。

初参加の田村さんは「先輩の活躍を見て、自分もやってみたくて参加した。緊張したが、次回も挑戦したい」と話している。

## 関東学生マーケティング大会 商・八島ゼミがリサーチ賞3位

関東の13大学19ゼミが参加して行われた「関東学生マーケティング大会2024」で、商学部・八島明朗ゼミ1班が、リサーチ賞3位を受賞した。メンバーは、3年次生の藻谷遼さん、井上晶太さん、奥村みはるさん、澤田日和さん、渡邊



「強豪大学が数多く参加したなか、入賞できてうれしい」と語った藻谷チーム

愛美さんの5人。同大会は、関東のマーケティング系ゼミによる研究発表会。与えられたテーマをもとに半年間かけて研究を行い、論文にまとめ、実務家からプレゼンする。リサーチ賞は、

分析の切り口が優れている。上位3チームに贈られる。 「すくすくマーケティング」がテーマの今大会には計59チームが参加し、八島ゼミからは2チームが参加。11月30日に二次・

最終審査が行われた。八島ゼミ1班の論文タイトルは、「自虐広告が購買意向に与える影響とその要因の解明」。商品やサービスを持つ企業が、自虐的な側面を、ユーモアを用いて訴求する「自虐広告」に着目し、通常の広告との比較検証を行った。論文では、消費者の注目と信頼を獲得する「自虐広告」の有用性を明らかにし、広告表現の新たな手法を示した。

藻谷さんは「思うような検証結果が得られず、研究が停滞することもあったが、あきらめずに掘り続けていくことで突破口を見つけたことができた」と手応えを語った。

「BSCとは何か」と題して、本学大学院修了生で、テーマに精通する東京国際大学の奥陽陽教授(平21院商博)と高崎経済大学の梅田准教授(平29院商博)が、進行役の伊藤和憲商学部教授からの問いかけに答えた。

BSC(バランススコアカード)とは、企業経営などで用いられる戦略的業績評価システム。戦略を可視化した戦略マッ

解説する奥教授(右)と梅田准教授

奥教授は「どんな組織にも戦略があり、戦略があるところであればBSCの導入は有効だ」と話した。梅田准教授は、コロナ禍においてフェーズ変更に合わせて人材・病床の配置転換などに活用された例を紹介。災害や危機対応にも生かせる」と意義を説いた。

最後に伊藤教授が、導入の利点として、組織内で戦略のベクトルを一致させることができることや、他部署とのコミュニケーションにもなる点などを挙げた。

## 第23回専大ベンチャービジネスコンテスト

### 鳳賞 ネット情報・長谷川チーム



ビジネスプランを発表する長谷川さんチーム

第23回専大ベンチャービジネスコンテストのプレゼンテーション大会が11月30日、神田キャンパスで開かれ、長谷川絢音さん(ネット情報2)のチームによるトラック専門駐車場予約サービス「はちのす」が鳳賞に選ばれた。

今回は3組が応募し、書類審査(一次)と事前プレゼン

審査(二次)を通過した8組が本選に臨んだ。出場者は、本学出身の起業家や教員、起業支援の専門家を前に、オリジナルのビジネスプランを堂々と発表した。

長谷川さんらは、高速道路のSA・PAでトラックドライバーが待機・休憩するための大型車駐車場が慢性的に不足している現状に着目。物流運送業界が抱える課題を解決しようと、営業時間外の商業施設の駐車場を提供し、サブスク形式で収益を得るプランを考え

た。

鳳賞受賞についてメンバーは、「これからもアントレプレナーシップを高めながら、起業や就職など、それぞれの将来に生かしていきたい」と語った。

また、岩澤楓さん(法4)チームに優秀賞が、埴信一郎さん(経済3)チームに育友会長特別賞が贈られた。

### 会計学研究所講演会

#### 「BSCとは何か」探る

専修大学会計学研究所(大柳康司所長)の公開講演会が12月13日、神田キャンパスで開かれた。「BSCとは何か」と題して、本学大学院修了生で、テーマに精通する東京国際大学の奥陽陽教授(平21院商博)と高崎経済大学の梅田准教授(平29院商博)が、進行役の伊藤和憲商学部教授からの問いかけに答えた。



解説する奥教授(右)と梅田准教授

奥教授は「どんな組織にも戦略があり、戦略があるところであればBSCの導入は有効だ」と話した。梅田准教授は、コロナ禍においてフェーズ変更に合わせて人材・病床の配置転換などに活用された例を紹介。災害や危機対応にも生かせる」と意義を説いた。

最後に伊藤教授が、導入の利点として、組織内で戦略のベクトルを一致させることができることや、他部署とのコミュニケーションにもなる点などを挙げた。

## 温かいご声援ありがとうございました

### 第101回箱根駅伝 応援ポイント写真特集



2区 横浜



3区 辻堂



4区 小田原



10区 大手町



6区 芦ノ湖



全学応援団を中心に、エールを送った空手部、吹奏楽研究会、スウィングジャズ研究会の有志